

## 1. 活動の概要

6月7日(金)、安来市立安田小学校で『心に残る文化財子ども塾』が開催されました。はじめに県埋蔵文化財調査センターの職員の説明で、伯太町内、特に安田小学校周辺の遺跡についてスライドを見ながら学びました。今から約20年前、安田小学校の校庭拡張工事に伴い丹部落合遺跡が発掘調査され、弥生時代や平安時代の建物跡や土器が発見されました。また学校近くにある安田深田遺跡の調査では縄文土器が出土しています。これらの遺跡で見つかった建物跡や出土品について写真を交えて紹介がありました。また校区内に『出雲国風土記』に登場する神社もあることを知りました。

次に、これから歴史で学習する弥生時代の暮らしや住まい、食事、衣服などについての話を聞きました。神庭荒神谷遺跡(出雲市)では大量の銅剣が出土していて、その数は日本最多であるといった説明もありました。

その後、安田深田遺跡から出土した縄文土器、丹部落合遺跡から出土した弥生時代の土器や石器など、実際に遺跡から出土したのを見たり触れたりしました。神庭荒神谷遺跡(出雲市)から出土した銅剣の複製品(模鑄品)を持ちあげてみて、その質感や重さを感じる体験もしました。

## 2. 活動の様子 弥生時代のくらしにふれてみよう～伯太町の遺跡から見える人々の暮らし～



「今日の学習のめあては…。」



「安田小学校周辺の遺跡を紹介します。」



「丹部落合遺跡から出土した本物の土器です。」



安田深田遺跡出土の縄文土器



弥生土器をじっくり観察しています



銅剣は思ったより重い？軽い？

### 3. 子ども塾を終えて

#### 1)児童の皆さんから(アンケートの回答より)...

心に残ったこと

- 本物の土器や銅剣にさわったこと(多数)
- 安田小学校の敷地内に遺跡があること(多数)
- 銅剣が戦いではなくマツリに使われていたこと
- 安来市内や伯太町内にたくさんの遺跡があること
- 水田とコメの話
- 神庭荒神谷遺跡に銅剣が 358 本あった(日本最多である)こと
- 昔の人は物々交換していたこと

もっと知りたいこと・体験してみたいこと

- 弥生時代のコメ作りで大変だったのは何か
- 邪馬台国はどこにあるのか
- 製鉄はいつからはじまったか
- 日本、島根県、安来市内の最も古い出土品はなにか
- (完形の)土器の破片はどうやって見つけたのか
- 安来市内(安田地区含む)にどんな遺跡があるか調べてみたい
- 昔の人々が使っていた土器や道具をもっと見たい
- 土器を発掘したい
- 弥生時代の食事をしてみたい

#### 2)担任の先生から...

- これまでの学習内容と関連する事柄について画像を利用した説明を受け、より具体的に理解できた。
- 周辺遺跡の説明では、身近な場所(小学校の校庭や学校から 300mほどの距離にある遺跡)に何千年も前の人々が住んでいたことに驚きと関心を持って聞いていた。さらに縄文土器と弥生土器の違いを確認したり、模倣銅剣の重さや美しさを実感するなど貴重な体験となった。
- 歴史の導入時に、身近な場所の古代の様子を聞き出土品を見たり触れたりすることで、イメージをもちにくい古代のくらしに思いを巡らせ歴史に関心をもつ良い時間となった。
- 講義(座学)と土器にふれる体験とで1時間の計画で行ったが、より古代のくらしに興味をもたせるため、ものつくりの体験も入れるとよかった。
- 事前打合せ、当日の準備(出土品の展示)などお世話になり感謝します。

#### 3)埋蔵文化財調査センターから...

安田小学校区内を中心に、遺跡や出土品を紹介しました。学校敷地内に遺跡がある例はありますが、それが発掘調査されて内容が分かるのはまれなことです。児童の皆さんの本当に近くに古代の人々が暮らしていたことに驚いたのではないのでしょうか。弥生時代のくらしについては時間の関係で簡単な説明となりましたが、土器や銅剣(模倣品)などを見たり触れたりして、当時の人々に思いをはせてもらえたのではないかと思います。

感想にもありましたが、安来市内や伯太町内にも多くの遺跡があることがわかっていただけたと思います。児童の皆さんの近くにも、昔の人々が暮らした跡がたくさんあることに気づいて、自分たちが住む地域に興味を持ち、大切にしていってほしいと思います。